

ラジオ体操とユウちゃん



ラジオ体操は、昭和3(1928)年、天皇陛下即位の大礼を記念して簡易保険局が企画し、文部省と日本放送協会の協力を得て「国民保健体操」として考案したものを、国民の健康保持増進を目的として実施したのがはじまりです。

リスのユウちゃんは、昭和37(1962)年が郵便貯金が誕生して88周年にあたるのを記念して誕生、翌年愛称が決まりました。





国民保健体操を企画した簡易保険局は、図解印刷物、映画、レコード、講習会などで体操の普及に努め、毎朝定時のNHKのラジオ全国ネット放送の実施により、国民的体操として普及、定着しました。

この体操の普及に伴い、新たな体操の出現を望む声が現れたため、日本放送協会と提携し、国民体操第2を創案することになりました。第2体操は、文部省を通じて全日本体操連盟に委嘱したところ、従来の第1体操を基調として運動量豊富な体操が完成。これを国民体操第2(ラジオ体操第2)と名付けて発表、昭和7(1932)年7月から周知されるようになりました。

ユウちゃんは、親しまれる郵便貯金のイメージ作りに役立てるため、昭和37(1962)年にリスのキャラクターとして誕生し、翌年、全国約10万点の応募作品の中から愛称が選ばれました。

リスは表情やしぐさが愛らしく、木の実をいろいろな場所に運び、植物の子孫を森全体に広げ、森を豊かに大きくしていくという役割をはたしており、そこから「蓄える」「繁栄していく」というイメージに繋がることとして選ばれました。

平成2(1990)年にリメイクされ(表面)、この時、公募により女の子のアイちゃんが誕生しましたが、平成19(2007)年の郵政民営化に伴いユウちゃんアイちゃん共々姿を消しました。

